

# 外国人観光・グループ客を想定して立地やサービス計画 家電量販店を用途転換「からくさスプリングホテル関西エアゲート」



▲からくさスプリングホテル関西エアゲート

## 2020年までに全国10軒1500室の展開を目指す

### 「からくさホテルズ」



代表取締役社長 佐藤亮祐氏

からくさホテルズ(東京都港区)は、主力ターゲットを外国人観光客とした宿泊特化型ホテル「からくさホテル」を国内各地に展開する。

### 旅の通過地点に 宿泊ニーズある

2016年3月に大阪と京都でオープンし、翌2017年1月には3号店「からくさスプリングホテル関西エアゲート」(大阪府泉南

郡)を開業。この3店は別用途の建物をコンバージョン(用途転換)したもので、以降は新規開発が中心だが、土地・建物は自社所有から借地、マスタートリーなど様々なスキームで展開。その柔軟性がスピーディーな出店計画を後押ししている。

象徴的な事例が、3号店・からくさスプリングホテル関西エアゲートだ。同ホテルはロードサイドの家電量販店を用途転換した。

関空エリアの宿泊施設は、空港と空港対岸の沿岸部とをスカイゲートブリッジRのたもとにある副都心部「りんくうタウン」や泉佐野駅前など、主に南海電鉄沿線に集積している。からくさスプリングホテル関西エアゲートは、この集積地帯からは離れた場所に位置している。

### 「集客が難しい」 下馬評跳ね返す

この立地環境から、同ホテルは開業当初から空港とホテルとを結ぶ送迎バスを運行して宿泊客のアクセスをサポートしてきた。運行にあたっては同社のグループ会社のバス事業を活用した。

### 【からくさホテル】

2016年3月に誕生した観光客向け宿泊特化型ホテル。国際空港や観光都市に位置し、平均20㎡以上のツインルームを軸にしたフロア構成で、ファミリーやグループ利用に最適なコネクティングルームを多く設ける。全館無料Wi-Fi



▲グループ客にも快適な客室  
(「からくさホテル札幌」客室)

や水回りの分業機能、観光客向け機能・サービスが充実する。

このサービスが、鉄道の営業時間外に空港を利用する旅行者に評判となった。関空がLCCの受け入れに力を入れ、深夜・早朝便の運航が活発になったことも追い風になった。

ホテル近隣の郊外型客を意識した機能・サービス充実させた。スーパードレスアップには、外国人観光客が日本のお土産を買いたい求めている。足繁く通うようになった。計画段階では「ホテル向けの立地ではない」と競合ホテルより

も空港から遠く集客が難しいなど、否定的な意見ばかりだったが、結果的に外国人観光客のニーズに合わせる。現在、大阪・京都のほかには北海道や東京など、外国人客が安心して滞在できる配慮も取り入れている。

からくさホテルは、1室に2名以上を収容し、観光旅行者に快適な機能を備えた客室を、軒・1500室の展開を目指す。